

北しりべし定住自立圏 圏域の現況について

1 人口等の推移

(1) 人口の推移

当圏域を構成している市町村の人口推移を見ると、全市町村が総じて10%以上の減少になっています。また、平成26年4月から余市町が過疎地域自立促進特別措置法における「過疎地域」の対象となったことにより、全市町村が「過疎地域」となりました。

(単位：人)

自治体名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H7/H22 増減率(%)	<参考> 平成26年
小樽市	157,022	150,687	142,161	131,928	△16.0	126,010
積丹町	3,648	3,149	2,860	2,516	△31.0	2,365
古平町	4,654	4,318	4,021	3,611	△22.4	3,441
仁木町	4,293	4,111	3,967	3,800	△11.5	3,511
余市町	24,485	23,685	22,734	21,258	△13.2	20,352
赤井川村	1,552	1,512	1,310	1,262	△18.7	1,121
合計	195,654	187,462	177,053	164,375	△16.0	156,800

(資料：国勢調査。平成26年は6月末現在、住民基本台帳による。)

(2) 高齢者単身世帯の推移

平成7年と平成22年の国勢調査の数値を比較すると、当圏域を構成している全市町村で大きく増加しています。

(単位：人)

自治体名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H7/H22 増減率(%)
小樽市	5,533	7,067	8,288	9,174	65.8
積丹町	167	191	245	273	63.5
古平町	188	228	277	286	52.1
仁木町	127	164	191	189	48.8
余市町	715	942	1,143	1,279	78.9
赤井川村	42	44	50	70	70.0
合計	6,772	8,636	10,194	11,271	66.4

(資料：国勢調査)

(3) 3区分人口の推移

平成7年と平成22年の国勢調査の数値を比較すると、年少人口（0～14歳）の構成比は、全市町村で減少しており、赤井川村以外の市町は、30ポイント以上減少しています。

生産年齢人口（15歳～64歳）の構成比についても、全市町村が減少傾向にあり、20ポイント以上減少しています。

老年人口（65歳以上）の構成比については、積丹町以外の市町村が増加傾向にあり、20ポイント以上増加しています。積丹町については、1.4ポイントの減少となっています。

(単位：人)

自治体名	区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H22構成 比率(%)	H7/H22 構成比増減	<参考> 平成26年
小樽市	年少	20,352	17,398	15,082	13,105	10.0	△35.6	11,904
	生産	106,146	98,035	88,088	77,215	58.5	△27.3	69,791
	老年	30,524	35,253	38,984	41,607	31.5	36.3	44,315
	計	157,022	150,687	142,161	131,928	100.0	△16.0	126,010
積丹町	年少	418	323	275	218	8.7	△47.8	189
	生産	2,203	1,765	1,516	1,285	51.1	△41.7	1,151
	老年	1,027	1,061	1,069	1,013	40.2	△1.4	1,025
	計	3,648	3,149	2,860	2,516	100.0	△31.0	2,365
古平町	年少	596	439	355	279	7.7	△53.2	272
	生産	3,030	2,682	2,352	2,002	55.5	△33.9	1,781
	老年	1,028	1,197	1,314	1,330	36.8	29.4	1,388
	計	4,654	4,318	4,021	3,611	100.0	△22.4	3,441
仁木町	年少	587	513	459	396	10.4	△32.5	352
	生産	2,715	2,445	2,289	2,141	56.4	△21.1	1,851
	老年	991	1,153	1,219	1,263	33.2	27.4	1,308
	計	4,293	4,111	3,967	3,800	100.0	△11.5	3,511
余市町	年少	3,635	3,052	2,722	2,371	11.1	△34.8	2,113
	生産	16,008	14,973	13,617	12,215	57.5	△23.7	11,222
	老年	4,842	5,660	6,394	6,672	31.4	37.8	7,017
	計	24,485	23,685	22,734	21,258	100.0	△13.2	20,352
赤井川村	年少	226	184	159	170	13.5	△24.8	147
	生産	1,043	1,017	815	746	59.1	△28.5	623
	老年	283	311	336	346	27.4	22.3	351
	計	1,552	1,512	1,310	1,262	100.0	△18.7	1,121
合計	年少	25,814	21,909	19,052	16,539	10.0	△35.9	14,977
	生産	131,145	120,917	108,677	95,604	58.2	△27.1	86,419
	老年	38,695	44,635	49,316	52,231	31.8	35.0	55,404
	計	195,654	187,462	177,053	164,375	100.0	△16.0	156,800

(資料：国勢調査。平成26年は6月末現在、住民基本台帳による。)

※不明者等により区分の計と総人口計が一致しないことがあります。

(4) 人口動態の推移

圏域内の人口は、近年2千人を超えるペースで毎年減少を続けています。

積丹町と古平町で、減少のペースが落ちているほかは、いずれも著しい減少となっています。特に小樽市では、社会動態による減少が毎年千人程度で、大きな課題となっています。

(単位：人)

自治体名	区分	平成10年	平成21年	平成25年
小樽市	自然	△ 510	△ 1,031	△1,283
	社会	△ 446	△ 979	△923
	計	△ 956	△ 2,010	△2,206
積丹町	自然	△ 32	△ 43	△41
	社会	△ 42	△ 40	△24
	計	△ 74	△ 83	△65
古平町	自然	△ 15	△ 25	△45
	社会	△ 50	△ 56	△36
	計	△ 65	△ 81	△81
仁木町	自然	△ 3	△ 32	△52
	社会	△ 35	△ 10	△22
	計	△ 38	△ 42	△74
余市町	自然	△ 69	△ 144	△169
	社会	△ 165	△ 27	△139
	計	△ 234	△ 171	△308
赤井川村	自然	4	4	△7
	社会	△ 11	△ 6	△23
	計	△ 7	△ 2	△30
合計	自然	△ 625	△ 1,271	△1,597
	社会	△ 749	△ 1,118	△1,167
	計	△ 1,374	△ 2,389	△2,764

(資料：北海道「住民基本台帳・世帯数及び人口動態」)

2 産業等の推移

(1) 産業別就業者数

就業者数から見て、第1次産業が基幹産業になっているのは、仁木町、赤井川村、積丹町であり、仁木町、赤井川村においては、製造・加工業が少ないため、多くは農産物をそのまま出荷しています。古平町、余市町では農水産物の生産及び加工が行われており、小樽市では、食品加工業のほか、卸・小売業やサービス業のほか、医療、福祉関係に従事する者の割合が高くなっています。

(単位：人、%)

自治体名	区分	平成17年	H17構成 比率	平成22年	H22構成 比率	H22-H17 増減	H22-H17 構成比増減
小樽市	1次	871	1.4	761	1.4	△ 110	0.0
	2次	11,730	18.8	9,695	17.8	△ 2,035	△ 1.0
	3次	46,949	75.4	42,909	78.7	△ 4,040	3.3
	ほか	2,734	4.4	1,145	2.1	△ 1,589	△ 2.3
	計	62,284	100.0	54,510	100.0	△ 7,774	
積丹町	1次	417	28.0	324	26.9	△ 93	△ 1.1
	2次	257	17.3	213	17.7	△ 44	0.4
	3次	814	54.7	669	55.5	△ 145	0.8
	ほか	0	0.0	0	0.0	-	0.0
	計	1,488	100.0	1,206	100.0	△ 282	
古平町	1次	313	15.2	264	15.3	△ 49	0.1
	2次	761	36.8	626	36.4	△ 135	△ 0.4
	3次	992	48.0	826	48.0	△ 166	0.0
	ほか	0	0.0	5	0.3	5	0.3
	計	2,066	100.0	1,721	100.0	△ 345	
仁木町	1次	970	46.9	865	46.8	△ 105	△ 0.1
	2次	175	8.5	148	8.0	△ 27	△ 0.5
	3次	872	42.1	827	44.8	△ 45	2.7
	ほか	53	2.6	7	0.4	△ 46	△ 2.2
	計	2,070	100.0	1,847	100.0	△ 223	
余市町	1次	1,568	15.3	1,489	16.3	△ 79	1.0
	2次	1,990	19.4	1,614	17.7	△ 376	△ 1.7
	3次	6,677	65.2	6,013	65.9	△ 664	0.7
	ほか	8	0.1	10	0.1	2	0.0
	計	10,243	100.0	9,126	100.0	△ 1,117	
赤井川村	1次	269	35.7	232	33.0	△ 37	△ 2.7
	2次	64	8.5	95	13.5	31	5.0
	3次	421	55.8	372	53.0	△ 49	△ 2.8
	ほか	0	0.0	3	0.4	3	0.4
	計	754	100.0	702	100.0	△ 52	
合 計	1次	4,408	5.6	3,935	5.7	△ 473	0.1
	2次	14,977	19.0	12,391	17.9	△ 2,586	△ 1.1
	3次	56,725	71.9	51,616	74.7	△ 5,109	2.8
	ほか	2,795	3.5	1,170	1.7	△ 1,625	△ 1.8
	計	78,905	100.0	69,112	100.0	△ 9,793	

(資料：国勢調査。区文中「ほか」は「分類不能の産業」)

(2) 事業所数の推移

事業所数は、赤井川村を除いた市町で減少しています。特に、積丹町、仁木町は20ポイント以上減少しています。

自治体名	平成18年	平成21年	平成24年	H18/H24 増減率(%)
小樽市	6,789 (6,577)	6,765 (6,597)	(5,940)	(△9.7)
積丹町	210 (178)	975 (914)	(123)	(△30.9)
古平町	229 (205)	228 (198)	(191)	(△6.8)
仁木町	207 (177)	199 (179)	(140)	(△20.9)
余市町	1,104 (1,040)	1,096 (1,038)	(934)	(△10.2)
赤井川村	73 (52)	86 (65)	(61)	(17.3)
合計	8,612 (8,229)	9,305 (8,953)	(7,389)	(△10.2)

(資料：H18 事業所・企業統計調査、H21・24 経済センサス。
()内は民営事業所数とその増減。H24 は民営のみ調査)

(3) 商店数(卸・小売)の推移

平成11年と平成24年の調査結果を基に、圏域を構成している全市町村の平均を見ますと、積丹町以外は約4割減少しています。

自治体名	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年	H11/H24 増減率(%)
小樽市	2,511	2,305	2,261	1,916	1,318	△47.5
積丹町	61	60	56	52	43	△29.5
古平町	74	68	67	58	44	△40.5
仁木町	67	67	67	60	27	△59.7
余市町	350	301	289	284	201	△42.6
赤井川村	22	19	16	13	11	△50.0
合計	3,085	2,820	2,756	2,383	1,644	△46.7

注) 平成24年は、経済センサス-活動調査の数値であり、全産業を対象として調査を行い「卸売業・小売業」に関する結果を抜き出す形で集計したものが、この調査結果であり、「卸売業・小売業」のみを対象として行っています。「商業統計調査」とは調査方法などが異なることから、過去の結果との比較には注意が必要です。(4)についても同じ。

(資料：商業統計調査、平成24年は経済センサス-活動調査)

(4) 販売額（卸・小売）の推移

平成11年と平成24年を比較しますと圏域を構成している全市町村で約3割以上減少しています。直近の平成19年の調査と比較しても、全市町村で減少しています。

(単位：百万円)

自治体名	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年	H11/H24 増減率(%)
小樽市	388,706	342,957	319,904	292,958	214,483	△44.8
積丹町	4,115	3,388	3,485	2,968	2,631	△36.1
古平町	2,503	2,502	3,008	2,361	1,515	△39.5
仁木町	3,039	3,870	3,425	2,448	1,685	△44.6
余市町	44,473	42,187	37,163	34,747	27,612	△37.9
赤井川村	1,498	1,340	665	726	638	△57.4
合計	444,334	396,244	367,650	336,208	248,564	△44.1

(資料：商業統計調査、平成24年は経済センサスー活動調査)

(5) 農家数等の推移

いずれの市町村においても、農家数、農家人口及び耕地面積が減少しています。

(単位：戸、人、ha)

自治体名	平成17年			平成22年			H17/H22 増減率(%)		
	農家数	農家人口 (販売農家人口)	耕地面積	農家数	農家人口 (販売農家人口)	耕地面積	農家数	農家人口 (販売農家人口)	耕地面積
小樽市	249	690 (472)	180	216	(391)	173	△13.3	(△17.2)	△3.9
積丹町	97	271 (191)	587	81	(136)	565	△16.5	(△28.8)	△3.7
古平町	51	120 (x)	x	x	(x)	x	x	(x)	x
仁木町	438	1,425 (1,374)	1,338	396	(1,173)	1,261	△9.6	(△14.6)	△5.8
余市町	494	1,667 (1,575)	1,139	436	(1,311)	997	△11.7	(△16.8)	△12.5
赤井川村	126	368 (347)	698	116	(300)	658	△7.9	(△13.5)	△5.7
合計	1,455	4,541 (3,959)	3,942	1,245	(3,311)	3,654	△14.4	(△16.4)	△7.3

(注) 平成22年農林業センサスでは、農家人口の集計はありません。()内は、販売農家人口とその増減。

(資料：農林業センサス)

(6) 漁獲高（数量ベース）

当圏域の水産業は、古くは、ニシン漁を主体として栄え、現在は、ほっけが最も多く、次いで、すけとうだら、するめいか類、たこ等となっています。

平成21年と平成25年との比較では、古平町を除き、いずれも減少しています。

(単位：t)

自治体名	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	H21/H25 増減率(%)
小樽市	41,948	32,001	24,225	23,456	22,038	△47.5
積丹町	2,651	2,132	2,520	2,186	2,487	△6.2
古平町	3,593	3,580	4,517	3,765	3,793	5.6
仁木町	—	—	—	—	—	—
余市町	3,015	2,800	3,146	2,961	2,467	△18.2
赤井川村	—	—	—	—	—	—
合計	51,207	40,513	34,408	32,368	30,785	△39.9

(資料：各市町村統計資料)

(7) 漁獲高（金額ベース）

平成21年と平成25年との比較では、積丹町を除き、いずれも減少しています。

(単位：千円)

自治体名	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	H21/H25 増減率(%)
小樽市	4,168,277	4,128,809	3,642,977	3,291,534	3,117,640	△25.2
積丹町	974,574	856,846	990,971	882,562	987,000	1.3
古平町	1,403,987	1,157,338	1,348,068	1,225,010	1,168,135	△16.8
仁木町	—	—	—	—	—	—
余市町	1,443,983	1,216,054	1,393,364	1,252,699	1,138,874	△21.1
赤井川村	—	—	—	—	—	—
合計	7,990,821	7,359,047	7,375,380	6,651,805	6,411,649	△19.8

(資料：各市町村統計資料)